

きょうから大京都展 福島

京都の多彩な魅力を紹介する大京都展は10日、福島市のいちい街なか店（旧中合福島店1階）で開幕する。16日まで。京都市と京都商工会議所、京都市観光協会、京都物産出品協会（京都名店会）の主催。

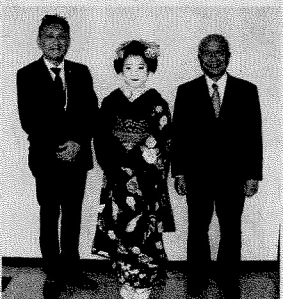
井筒八ッ橋本舗の銘菓「夕子」など京都の人気のお菓子のほか、漬物、弁当といった「京の味」が一堂に並ぶ。京の匠の技で作り上げたバッグなども紹介する。

10日は京都・宮川町の舞妓ふく典さんが会場を訪れ、踊りを披露する。午前11時と午後1時、同3時からの3回。購入計3千円（税込み）ごとに参加できるお楽しみ抽選会も開く。各日先着500回限りで、1人最高5回まで。

午前10時～午後7時（最終日は同5時）。問い合わせは同店（電話024・573・7640）へ。

京都物産出品協会の津田純一会長ら大京都展関係者

は9日、福島民友新聞社の取材に意気込みを語った。津田会長は「協会として福



大京都展をPRする（左から）伊藤社長、ふく典さん、津田会長

島市での開催は初となる。

京都と福島は縁が深いので、交流を深めたい」と話した。ふく典さんは「新型コロナウイルスの影響で今まで通り仕事ができない中で、いろいろな人に見ていただける機会ができたことはうれしい」と話した。しげ森（京都市）の渡辺奈々羽さんと、いちいの伊藤信弘社長と伊藤翼常務管理本部長、佐藤明執行役員商品本部長、佐々木忠寿商品本部商品部長が同席した。